

# 甲子園に向けて 栄養満点の食事を



▲夕食の会場は和やかな雰囲気にも包まれた。



速報新聞

## キマグレ

発行所  
彦根東高等学校  
新聞部  
彦根市金亀町4番7号

### メニュー

- 白ご飯
- 海老フライ
- クリームコロッケ
- 酢豚
- フルーツゼリー
- サーモン フローレンス風
- 鶏肉のから揚げ
- キャベツ
- オニオンスープ



▲8月5日の夕食。ここに白ご飯が加わった。

8月5日の宿舍での夕食は6時半から開始された。野球部員たちはとてもリラックスしており白ご飯をおかわりする様子も見られた。

野球部の食事をサポートされている栄養士の首藤由佳さんは「ハードな練習の後には食欲が出ないことが多いので、食べやすく栄養のある食事を考えるように工夫している。

選手に、自分自身で食事の摂り方に気を配るような変化が見られたので「うれしい」と話し、選手に向けて「今まで培ってきたものを糧にして、思う存分暴れまわってほしい」とメッセージを送られた。

吉本孝祐君（3-4）は「おいしいものがたくさん食べられて、明日からも頑張れる。太らないように気をつけます」と、原功征君（2-8）は「彩りが良く栄養満点ですごくおいしい。甲子園に向けて、体重を減らす必要はない。頑張りなさい」と話した。食事の感想を話した。



▲海老フライをほおぼる條野正宗君（3-7）

## 抽選会を終えて

8月4日に大阪市北区のフェスティバルホールで、甲子園の組み合わせ抽選会が行われた。その結果本校野球部は、長崎県代表の波佐見高等学校と開幕戦で戦うことが決まった。

主将の松井拓真君（3-5）は抽選を終えて「開幕戦を引いたときは驚いたが、この舞台に立るのは自分たちと対戦校の2校だけなので、気持ちが高まってきた」と当時の心境を話し、副キャプテンの高村真湖人君（3-8）は甲子園の初戦に向けて「甲子園の雰囲気に呑まれることなく、いつも通り戦いたい。笑顔で元気にプレーしたい」と意気込んだ。監督の村中隆之先生は、対戦校の印象を「チームワークが良く、投手陣を中心に守りがしっかりしている。チームの打率も良く、バランスの良いチームだと思う」と話し「自分たちの野球を見てもらえるように、胸を張って良いプレーをしてほしい」と初戦への意欲を見せられた。